

支部ニュース

STREET

Vol.348 2025年(令和7年)4月1日発行

発行者 一般社団法人 北海道建築士会札幌支部 中央区大通西5 大五ビル 6F

TEL:011-232-1843 / FAX:011-222-0924 E-mail:hksj@h-ab.com <http://h-ab.com/sapporo/>

《 本部事務局からのお知らせ 》

☆ 『報告事項』

一般社団法人北海道建築士会札幌支部の定時総会にて話題になりました『会費改正』について、一般社団法人北海道建築士会より各支部に向けた資料が届いておりますので、お知らせいたします。
(2月25日現在)

- ・本部会費改正案：令和8年度 から ￥19,200 (年会費)
- ・会費改正に伴う検討資料 (別紙) ⇒ <https://h-ab.com/sapporo/pdf/jouhou/street347-2.pdf>

《 事業委員会からのお知らせ 》

☆ 『1級建築士・2級建築士学科受験者講習会の開催案内』

■ 【開催日】

- 5月10日(土) 1級法規、2級法規
- 5月17日(土) 1級構造、2級構造
- 5月24日(土) 1級環境設備、2級計画
- 5月31日(土) 1級施工、2級施工
- 6月7日(土) 1級計画

■ 【会場】大五ビル2階会議室

■ 【時間】9:00～17:00

■ 【受講料】次号 STREET 5月号へ掲載予定。(※支部ホームページより)

《 クラブ活動のお知らせ 》

☆ 『札幌支部クラブ活動報告』

■ グルメの会； 第4回3月28日(金)『無花果』で開催、参加者10名でした。

第5回は、5月後半頃 実施予定。現在、部員より推薦店を募集中！

■ ボウリング部； 3月5日(水) 例会開催、参加者9名。「スポーツ後のビールはおいしいよ！！」

■ カーリンコン部； 4月のカーリンコン協会の例会は、4月12日(土) と 4月26日(土)

「かでの2・7」で13時から 一度見に来てみませんか？！

■ 登山・ハイキング部； 4月19日(土) に燻製食べ比べ開催。5月には朝日岳か夕日岳を登山予定。

■ そば部； 休部中(各自で自主トレ中、夏前に一度、開催予定)

■ 映画鑑賞部； 3月22日(土) 参加者6名「マイアーキテクト」鑑賞。 次回は7月に開催予定。

■ ダーツ部； 発足予定。



グルメの会『無花果』にて



ボウリング部 (会場で)



映画鑑賞部「マイアーキテクト」鑑賞

■ 皆様も士会の仲間クラブ活動しませんか！ 参加者随時募集中！

クラブ活動のページへ ⇒ <https://h-ab.com/sapporo/about/sapporo-club.html>

《 本部より 》

●北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！

- ・ 視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- ・ 4月パスワード：【 Nak054 】

『失敗から学ぶ』VOL.35 《寒冷地の断熱1》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

◎ 寒冷地では床下・外壁・屋根以外にも断熱材を考慮しなければならない。

■ 風除室に接した事務室が寒い

①玄関の風除室に接した事務室が寒いとクレームになった。

②玄関の風除室直上階の事務室が寒いとクレームになった

※原因は風除室と事務室の区画壁・床の断熱ラインが途切れ連続しておらず断熱不足でした。

風除室は半屋外の環境になるので内部でも接する区画壁・床は断熱が必要です。

外部や半屋外に接する居室の断熱ラインが連続していることがポイントです。

■ 事務所ビルの休憩室が寒い1

①天井裏の高さが3mある事務室が寒いとクレームになった。

※原因は事務室の天井面に断熱材の敷込みがなく暖房機能力が天井裏の負荷まで見込んでいなかった。

天井裏の空間が大きい場合は天井面で確実な断熱をすることがポイントです。

■ 事務所ビルの休憩室が寒い2

①非暖房室の倉庫に接した休憩室が寒いとクレームになった。

②エレベーター昇降路に接した休憩室が寒いとクレームになった。

※原因は非暖房室に小規模の休憩室が接し区画壁に断熱材が無かったことです。

屋内であっても非暖房室に接する居室の区画壁は断熱材を考慮することがポイントです。

■ 事務所ビルの休憩室が寒い3

①ピロティ部に設置した休憩室の床が冷たいとクレーム

②屋外駐車場直上階の休憩室が寒いとクレーム

※原因は床下の断熱不足だった。床が冷たいと特に寒く感じるのでクレームになります。

床下がピロティや屋外駐車場などの場合はスラブ下と天井面を2重に断熱し天井裏の温度環境に留意するのがポイントです。

床下の断熱材（発泡ウレタン等）の厚さは100ミリ以上を推奨します。

軒天井面にはグラスウール等の敷き込みを推奨します。照明器具や天井下地材で隙間が生じないように留意します。また、天井裏の中に暖房設備を設置する等の事例もあります。

自習型認定研修の設問

設問1

寒冷地の断熱計画で正しいのはどれか？

- 床下・外壁・屋根の断熱材は同じ厚さが望ましい。
- 外壁面断熱ラインの連続が必須であるが屋内側の断熱は不要である。
- 不燃認定の現場発泡ウレタンが市販されている。内装制限の室に露出で対応可能になった。

設問2

寒冷地の断熱計画で正しいのはどれか？

- スラブ下（天井裏）に断熱材を打込む場合はノロ止めの対策が必要。
- 不燃認定の現場発泡ウレタン断熱材の下地に認定の制限はない。
- 現場発泡ウレタンの吹付厚さは100ミリ以下は施工制限なく施工可能。



認定教材の設問への回答は、CPD情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。

※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。